

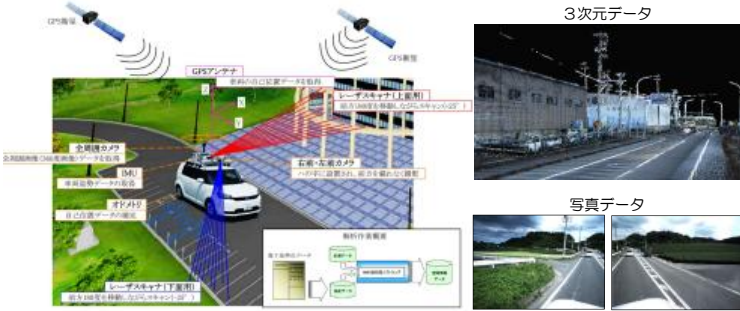
まるごと3次元 ～3次元空間データの取得～

2016年4月、国土交通省による『I-Construction』の施行により、高密度、高精度での地形の3次元取得が求められるようになりました。地形の3次元化により、地形の実体化、様々な計測・解析が可能となります。フジヤマは、多様多様なフィールドの3次元データ取得に対応しています。

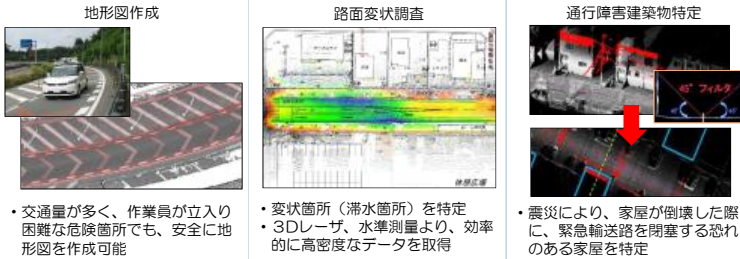
MMS

道路内を効率的に計測したいときは、コレ!

MMS-K320 (三菱電機)



成果事例



- 地形図作成
 - 交通量が多く、作業員が立ち入り困難な危険箇所でも、安全に地形図を作成可能
- 路面変状調査
 - 変状箇所（滞水箇所）を特定
 - 3Dレーザ、水準測量より、効率的に高密度なデータを取得
- 通行障害建築物特定
 - 震災により、家屋が倒壊した際に、緊急輸送路を閉塞する恐れのある家屋を特定

活用のPoint

- 走りながら、効率的に道路内の3次元データを取得します。
- 3次元データと同時に、高解像度の写真及び全周囲画像も取得します。
- 取得データより地形図（レベル500：公共測量対応）が作れます。

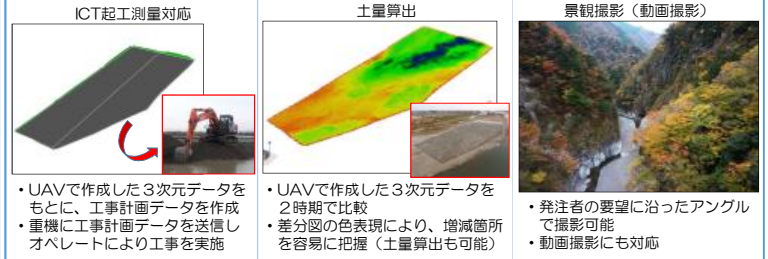
UAV

空から3次元データを取得できる現場には、コレ!

MATORIS (DJI)



成果事例



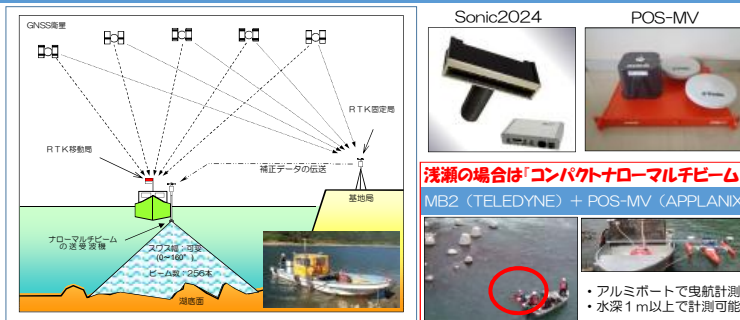
活用のPoint

- 高解像度カメラ（4200万画素）により、精密な画像を取得します。
- 取得した画像から、高密度（1cm）な3次元データを作成します。
- オルソ画像、標高段彩図、2時期差分図等、様々な成果を提供します。

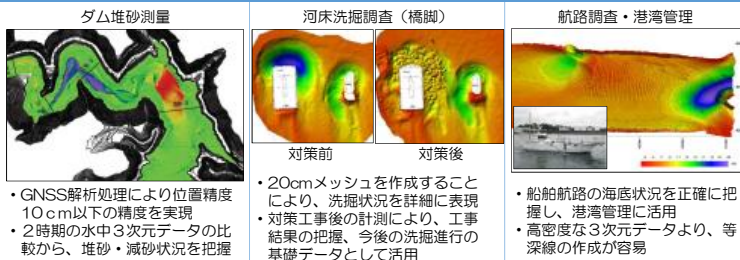
ナローマルチビーム

水の中を高密度・高精度に計測したいときは、コレ!

Sonic2024 (R2SONIC) + POS-MV (APPLANIX)



成果事例



- GNSS解析処理により位置精度10cm以下の精度を実現
- 2時期の水中3次元データの比較から、堆砂・減砂状況を把握
- 20cmメッシュを作成することにより、洗掘状況を詳細に表現
- 対策工事後の計測により、工事結果の把握、今後の洗掘進行の基礎データとして活用
- 船舶航路の海底状況を正確に把握し、港湾管理に活用
- 高密度な3次元データより、等深線の作成が容易

活用のPoint

- 「Sonic2024」と「POS-MV」のシステムにより、高密度で高精度な水中3次元データを短時間で取得します。
- 高精度な計測により、正確に2時期の比較（堆砂・減砂）ができます。

レーザーสキャナ

i-Constructionに対応した計測には、コレ!

GLS-2000 (TOPCON)



成果事例



活用のPoint

- i-Constructionに対応した起工測量、出来形測量が行えます。
- 100m先の計測精度が3mmの、高精度な計測が行えます。
- 350m先まで計測が可能です。短時間で広範囲の計測が行えます。